

ながくて

Nagakute City Assembly

# 議会だより

No.102  
12月定例会

平成29年2月1日発行

特集

成人式インタビュー …2~3

一般質問(個人) ……8~18

議案等審議状況(○×表) ……19



特集 1月9日 長久手市 文化の家

20  
years old

# 成人式インタビュー



文化の家で行われた成人式の会場に市議会議員が伺い、新成人にインタビューをしました。

## 政治・経済で気になっていることを教えてください。

- アメリカ大統領にトランプ氏が就任することにより、これからどのような影響があるか。  
(同じ回答が複数あり)
- 韓国の朴槿恵大統領の騒動から受ける影響を心配している。
- イギリス国民がEU(欧州連合)からの離脱を選択するとは思わなかった。これからヨーロッパはどうなっていくのか。
- 国会議員の二重国籍の問題が気になっている。



インタビューを終えて

政治・経済に関する質問では、アメリカのトランプ次期大統領に関する回答が圧倒的に多かった。海外のニュースに目を向け、どのような影響があるか考えていることが分かった。まちづくりに関する質問では、現状を把握した上でどう解決していきたいか、考え方が現実的であったことに感心した。議会として、若者の意見をしっかりと市政に反映できるように活動していきたい。

(議会だより編集委員一同)



もしあなたが長久手市議会議員になったら、このまちをどうしていきたいですか。

- おしゃれなお店がたくさんありながら、公園や里山などの自然環境が整っているまちにしたい。
- 住みよさランキング全国2位だが、イオンがオープンして交通渋滞がひどくなり、イケアがオープンするとさらにひどくなって住みにくくなると思う。交通渋滞を解消したい。
- 長久手市は日本一平均年齢の若いまちなので、若者もまちづくりに参加しやすくし、老若男女の意見が反映された住みやすいまちにしたい。
- 地域をみんなで支え合っていけるような、人にやさしいまちづくりがしたい。

## 総務

## 委員会

委員長

青山 直道

副委員長

なかじま 和代

上田 大

木村 さゆり

吉田 ひでき

伊藤 祐司

## 平成28年度 一般会計補正予算(第3号)

**Q** 児童発達支援事業において、県が「放課後等デイサービス」の事業者を認可するが、市は状況を確認しているか。

**A** 市の職員が市内の全事業所を現地確認している。市外事業所は直接把握できないが、情報提供を受け把握に努めている。

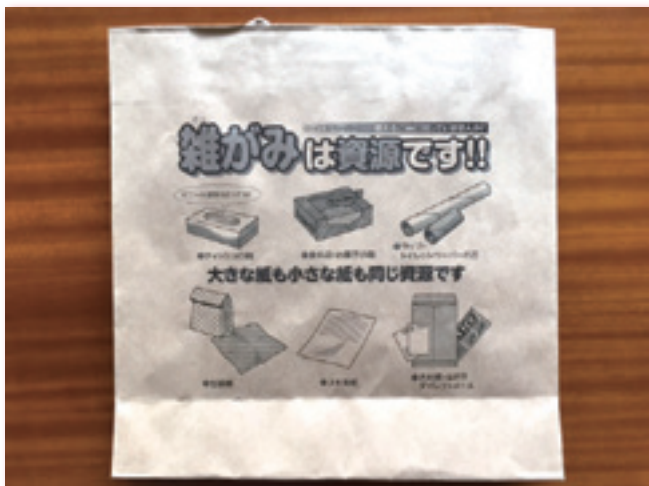
**Q** 寄付を財源に雑がみ回収袋を配布することにしたのはなぜか。

**A** ごみの組成調査の結果、雑がみが可燃物として出されているので作成し、配布することとした。

**Q** (仮称)市が洞小学校区共生ステーション整備事業が遅れた理由と今後のスケジュールはどうなるのか。また、他の地区に影響があるか。

**A** 平成28年度当初に実施設計の予定だったが、11月12日のワークショップの結果を反映させることとした。業者決定は最短で平成29年2月頃の見込みであり、予算は翌年度に繰り越す。北小校区は議論が進んでいるが、南小校区は推進メンバーと調整したい。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



尾張旭市で使用されている雑がみ回収袋

## 職員の勤務時間、 休暇等に関する条例の 一部改正

**Q** 介護時間は1日につき2時間を超えない範囲内とのことだが、連続した2時間か、それとも分けて取れるのか。

**A** 連続でも分けてでも取れる。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

## 職員定数条例の 一部改正

**Q** どの部署の職員定数を拡大するのか。

**A** 職員定数枠を広げることが目的で、どの部署を増員するというのではないが、長湫北保育園の定員増に伴う保育士の増員は大きな要因となった。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



市が洞小学校区共生ステーション予定地

教育福祉  
委員会

委員長 さとう ゆみ 副委員長 山田 かずひこ 林 みすず 山田 けんたろう 大島 令子 加藤 和男

国民健康保険税  
条例の一部改正

**Q** 日本と台湾の間での二重課税を排除するための法整備であるが、どのように賦課するのか。

**A** 市民税で分離課税される特例適用利子や特例適用配当を総所得金額に含めて、総合課税として所得割額の算定を行う。

**Q** 総合課税になることにより、所得割額は高くなるのか。

**A** 総所得に対する課税のため、高くなる可能性もある。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

平成28年度  
国民健康保険特別会計  
補正予算(第1号)

**Q** 一般被保険者療養給付費の増額の要因は何か。

**A** 平成27年秋からC型肝炎の治療費が適用されたことや、平成28年はインフルエンザの注意報が昨年より2カ月早く発令されたことにより増額する。

**Q** 今回の補正により、基金残高はどのようになるのか。

**A** 平成27年度決算は1億1,527万7,980円だったが、平成28年度末で2,671万3,980円となる見込みである。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



研修室として利用方法が変わるITルーム

福祉の家条例の一部改正

**Q** ITルームを研修室に改修するが、これまで主に何に利用されてきたか。

**A** パソコン教室で利用していたが、改修することで会議にも使用できるようになる。

**Q** 研修室の使用時間帯を見直さないか。

**A** 今後検討する。

**Q** 介護予防や健康増進のための運動などにも利用できないか。

**A** 簡単な体操やヨガなどはできる。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

平成28年度  
介護保険特別会計  
補正予算(第2号)

**Q** いきいきライフ普及啓発事業委託は具体的にどのようなか。

**A** 総合事業として市内のサロン活動に運動講師を派遣する事業である。

**Q** サロンは何カ所を想定しているのか。また、講師派遣の回数はどのようなか。

**A** 100カ所を想定し、月1回派遣する予定である。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

	施設名称	9時～12時	13時～17時	18時～21時
改正前	ITルーム	1,640円	1,850円	
改正後	研修室	610円	820円	610円

福祉の家研修室(前ITルーム)利用料一覧

## 平成27年度 1号調整池整備工事 請負契約の変更

変更前 2億850万4,800円  
変更後 2億9,302万6,680円

**Q** 前回の定例会に続く変更契約の議案であり、今回は8,452万円の増額である。事前に調査できなかったのか。

**A** 掘削工事は着手してからでないと地下水の有無や範囲、量、地下水に影響を受ける土の性状などが明確に把握できない。標準的な安定のり面勾配による掘削工事を行うことにしたが、全体的に著しい地下水の流入があり、のり面崩壊の回避と施工の安全性確保について請負業者と協議の上、土留め対策工事が必要と判断した。

**Q** 今後追加でこのような事案は起きないのか。

**A** 今回対象となる調整池は下池と公園池だが、その間にある上池でも地下水が見られるため、次回定例会で変更契約の議案を提出する予定である。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



想定外の地下水の流入があった1号調整池

## 平成28年度 公園西駅周辺土地区画整理 事業特別会計補正予算(第1号)

**Q** コンクリート殻が発見されたが、事前のボーリング調査は何力行ったか。

**A** 土地改良事業後に埋め立てられた土地に平成23年度、71カ所のボーリング調査を実施した。田んぼの下の土が出る深さまで掘削したが、その際にはコンクリート殻は確認できなかった。

**Q** 翌年度への繰り越しとなるが、今年度予定していた工事で未発注となっているものは何か。

**A** 蛭子橋架け替えを含むイケア西側の道路改良工事と、駅前広場につながる都市計画道路工事である。

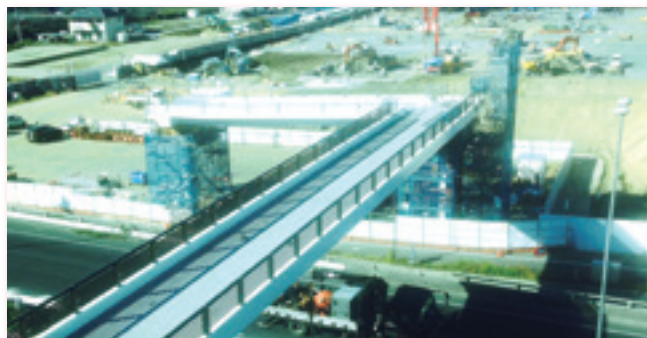
**Q** 渋滞緩和策の工事はイケアオープンに間に合うか。

**A** イケア周辺道路整備を平成29年9月末までに完了する予定。

**Q** 横断歩道橋工事は工事契約額の10パーセントに当たる5,500万円がイケアの負担分として歳入に計上されたが、経緯と協議内容はどのようなか。

**A** 横断歩道橋の設置については地域住民の意向を反映し整備する。公園西駅に接続する歩道橋はイケア利用客の動線になると想定され、計画段階からイケアと協議した。横断歩道橋階段部と工事の際に利用する作業ヤードの敷地をイケアから無償提供されている。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



公園西駅に設置される横断歩道橋

12月定例会に、市民から3件の請願が提出されました。請願とは市民が国や地方公共団体の機関に対して意見や要望を述べることをいいます。

**安全保障関連法の廃止を  
求める意見書を提出することを  
求める請願**

紹介議員：林みすず・大島令子・上田大

**【請願要旨】**

政府・与党の強行採決により成立した「安全保障関連法」は、集団的自衛権行使を容認するものであり、憲法学者や元最高裁判事までもが違憲であると断じている。また、陸上自衛隊の新任務「駆けつけ警護」や「宿営地共同防護」は、自衛隊の生命が危険にさらされる可能性が大きい。安全保障関連法の廃止を求め、市議会から国に対し意見書を提出することを要望する。

**「賛成討論」**

- ・憲法解釈の変更で集団的自衛権の行使を認め、違憲と指摘されながら可決・成立させ、自衛隊に新たな任務が追加されたことは問題である。(さとう)
- ・自衛隊の新任務は日本の自衛でなく「他国や米軍」のために武力行使を行う事であり憲法違反である。PKO参加5原則も崩壊している。(林)

**「反対討論」**

- ・世界の中の日本として世界の平和に貢献し、日本を代表して活動する隊員の命を守る上でこの法律は重要であると考えます。(山田けんたろう)
- ・日本国憲法第9条は認識しているが、国際協力により攻撃を受けた場合、身を守る最小限の防衛力は必要と考えます。(山田かずひこ)

**採決の結果、賛成少数にて不採択**

**川内原発をはじめとする原発  
再稼働に反対し廃炉とし、  
原発ゼロ政策への転換に向けた  
意見書の提出に関する請願**

紹介議員：林みすず・大島令子・上田大

**【請願要旨】**

東京電力福島第一原発の事故発生から5年以上が経過したが、いまだに事故収束には至っておらず、原因究明もされていない。このような状況での再稼働に断固として反対する。また政府はエネルギー政策を転換し、再生可能エネルギーを普及促進させる必要がある。原発再稼働に反対し、原発ゼロ政策への転換を求め、市議会から国に対し意見書を提出することを要望する。

**「賛成討論」**

- ・福島原発事故の廃炉・賠償等の道筋は未だ見えない。核のゴミは数十万年の隔離が必要で、人類は制御出来ない。原子力に頼らない社会を目指すべき。(大島)
- ・福島の事故を経てもなお再稼働が先にありきで、原発の安全神話を復活させることは許されない。(じんの)

**「反対討論」**

- ・再稼働は厳格な規制基準を満たした上で、地元の意向が尊重され決定している。省エネと経済成長を両立させ、原発ゼロ社会を目指すべき。(ささせ)
- ・安全度の高い原発を活用しながら代替エネルギーの導入を図るなど、原発の電力供給量を減少する方策が望ましい。(青山)

**採決の結果、賛成少数にて不採択**

◆「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願」は本会議で賛成全員にて採択し、長久手市議会から国へ意見書を提出した。

# 一 般 質 問

田崎あきひさ議員



## Q 渋滞緩和策は万全か

### A 調整していく

Q イオンやイケアといった商業施設の開業にあたり市の渋滞対策緩和策は万全か。また、多くの声が寄せられると思うが、広聴対応はどのようなか。

A 建設部長 市、県、警察およびイオンで協議会を設置。イオンから出された交通警備計画書を元に、効果的な車両の誘導方法等について意見を出し合い、十分な対策を実施するよう調整している。市に渋滞、交通誘導等に対する意見が寄せられた場合は市から内容を伝え、イオンも相談窓口を案内している。



市が12億円(平米10万円)かけ土地を購入するも芝生墓所の売り上げは芳しくない

## Q 避難所への物資供給方法は

### A 一部の避難所への物資集中を防ぐ

Q 開設される避難所によって避難所間格差が生じた事例がある。本市が救援物資を配分する前提はどのようなか。

A 暮らし文化部長 市内15カ所の長期避難所で担当班が避難者数を把握し、災害対策本部に必要な物資を要請する。その要請に基づき避難所に物資を配分し、一部の避難所に物資が集中することを防ぐ。そのためにも記録を残す。

## 墓園事業について

Q 芝生墓園の売れ行きが不調である。アンケートでは和型墓地ニーズが高く、施策を誤っていないか。

A 暮らし文化部長 樹木型合葬式墓所は好評だが、芝生型墓所が見込みを下まわった。若い世帯が早期に応募する必要性に迫られていないことが原因ではないかと考える。和型墓地の整備の予定はない。

Q 卯塚墓園の和型墓地は、遺骨がないとの受付さえしない現状は問題。変えるべきだがどうか。

A 協会に働きかけていきたい。

ささせ順子議員



## Q 年末年始もN-バスを運行させないか

### A 試行的に特別ダイヤで運行することを検討していきたい

Q N-バス停留所を増設して、自宅と停留所の距離を近くし、高齢者の外出支援をしないか。

A 暮らし文化部長 停留所は半径300メートルの円を描いて設置している。市内を概ねカバーしているので、現在のところ増設の予定はない。

Q 高齢者の運転免許証自主返納促進のため、返納方法や特典などの情報を市民に分かりやすく紹介しないか。

A 他市町を参考に特典などを紹介していく。



利便性を高め、市民の移動手段として皆で育みあうN-バスへ



## 上郷保育園に関わる環境整備について

**Q** 老朽化する上郷保育園の早期改築とすぎのこ教室の整備状況はどのようなか。

**A** 福祉部長 「市立保育所改築整備方針」において保育園とすぎのこ教室は併設とし、今後4年で進めるとしている。

**Q** 児童発達支援センター併設について具体的な検討は。

**A** 「ながふく障がい者プラン」の重点施策の1つとして協議中。未就園児から一貫した体制で総合的な療育支援ができるよう整備する。

**Q** 公園西駅周辺地域は子育て世代の更なる増加が見込まれる。保育園の大幅な定員拡充が必要ではないか。

**A** 現時点では未定だが、適切な規模を考えている。

## 介護の担い手確保について

**Q** 介護を担う人材確保が課題だが、市の対応はどのようなか。

**A** 福祉部長 長期間現場を離れていた介護従事経験者など潜在有資格者を対象に市内事業所で実技研修を開催し、復職の後押しをする。

**Q** 資格取得を市で支援し、多様な人材を介護の担い手として育てないか。

**A** 市との共催で介護初任者研修の開催を市内事業者にお願いしていく予定。

吉田  
ひでき  
議員



## 市の情報透明度は

### 増していると考え

**Q** 市長公室・総務部関係部課長は、本市隣接5市(名古屋市・瀬戸市・尾張旭市・日進市・豊田市)の情報公開コーナーの視察に行ったことはあるか。他市との違いを部署間で話しているか。

**A** 市長公室長 行政課において、隣接自治体5市の情報コーナーを視察している。各市共通して、多くの人が行き交う場所に情報コーナーを設置して、ゆったりしたスペースがあった。今後、他市の状況を情報担当部署と情報共有し、市民サービスの向上に役立てていく。

**Q** 年間に市役所への苦情、市長への意見等はどれくらい届いているか。

**A** 10月末現在、過去1年間の受付の「市政ご意見箱」等ご意見・ご要望は467件、市長へのアイデア提案「一平さんへひとこと」は43件。

**Q** 市役所の持っている情報の透明度は、この5年でどのように変わったか。

**A** 市の情報公開制度では、公文書公開決定通知書に不服があるときは、市情報公開条例第18条の規定に基づき、市情報公開審議会に諮ることができる。平成23年度に開催された審議会では、非公開と判断した建設工事に係る設計価格および最低制限価格についての諮問がなされ、可能な限り情報は公開するべきとの考えから、従来は非公開としていた部分についても公開すべきであると答申された。このような手続きを経て、この5年で市の情報の透明度は、増している。

**Q** 市民皆さんのお声を聞くとき重要な「態度・姿勢」等、職員接遇研修等はどのように行われているか。

**A** 新規採用時と採用後3年目に接遇研修を実施している。



「情報コーナー」はもう少し市民目線に

# 一 般 質 問

じんの和子議員



## Q 8公園に公園愛護会不在の理由は

**A** 子ども会の解散のケースが多い

**Q** 法人が愛護会を設立する場合の条件整備をしないか。

**A** 建設部長 他市町の事例を確認しながら研究する。

**Q** 日進市のように、ホームページを作成し、愛護会の活動紹介や愛護会募集を積極的に情報発信しないか。

**A** 情報発信の手法を検討していきたい。

## Q 骨粗しょう症検診を導入しないか

**A** 研究していく

**Q** いきいき倶楽部やパパママ教室で、骨密度測定ができないか。

**A** 福祉部長 測定器のリース費が高額なので、他のイベント等での実施を検討していく。

## 保育の質は大丈夫か

**Q** 3歳児未満が入所する小規模保育所の拡充が進んでいる。待機児童の解消につながるか。

**A** 福祉部長 建設中の長湫北保育園の定員拡充と合わせ、待機児童解消につながる。

**Q** 小規模保育所卒後の受け入れ先が不足しないか。

**A** 3歳児クラスになる際に、優先して転園先の保育所を調整する。

**Q** 新たな小規模保育所の保育の担い手は、全員が保育士有資格となっているか。

**A** 有資格者が保育を行うA型を基本としている。

## 災害時ペット同行避難について

**Q** 「避難所開設運営マニュアル」にペット同行避難を盛り込まないか。

**A** くらし建設部長 同行避難を盛り込むとともに、その際の問題点対策も検討していく。

**Q** 名古屋市のように「災害時におけるペット対応の心得」を作成し飼い主に配布しないか。

**A** 作成し啓発を検討したい。

岡崎つよし議員



## Q 悩みを直接教員に言えない子どもを救う心のポストを設置しないか

**A** 校長会等に投げかける

**Q** 30日以上長期欠席者のうち不登校児童生徒は何人か。

**A** 教育部長 平成27年度は小学生18人、中学生26人である。

**Q** いじめが原因と思われる不登校者はいるか。

**A** いじめが主な原因として不登校になっている事案はないが、複数の要因が複雑に絡んでいるものが多く、引き続き注視していく。

近隣市町の「骨粗しょう症検診」状況

	みよし市	豊明市	日進市	東郷町
対象者	30歳以上の女性	20歳以上の女性	40歳以上の女性	40歳～70歳の女性（5歳ごと）
内容	問診、骨レントゲン又は超音波	左前腕X線撮影	かかとの超音波検査	かかとの超音波検査
	尾張旭市	瀬戸市	名古屋市	
対象者	18～39歳の過去2年の未受診女性	40歳～70歳の女性（5歳ごと）	30、33、36、39歳の女性	40歳～70歳の女性（5歳ごと）
内容	かかとの超音波検査	腕のX線検査	問診	骨量検査

近隣市町のように骨粗しょう症検診を実施すべきと考える



望まれる第3の交番(写真は岩作交番)

**Q** スマイルポイントの  
対象活動や施設の  
登録状況はどのよう  
か

**A** 対象活動は41事  
業、対象施設は36  
施設である

**Q** 対象活動を増やさないか。

**A** 福祉部長 市民団体等が無報酬で行う公共的・公益的な活動もポイント対象になるように準備している。活動内容に関する書類と参加予定者等を事前に申請し、終了後に確認できる書類を提出してもらう。

## 安心安全なまちづくりについて

**Q** 毎年グリーンロード以南に新設交番設置要望書を愛知県警察本部と愛知警察署に提出しているが、どのような状況か。

**A** 暮らし文化部長 平成28年11月21日に日進市長とともに警察本部地域部長、愛知警察署長に面会した。現状では難しいが、必要性は十分認識しているので引き続き検討していくとの回答である。

**Q** 平成27年の市内の刑法犯認知件数は648件であるが、特に多い地区はどのようか。

**A** 平成27年の犯罪発生多発学区ランキング(県内1035学区)では、南小校区は33位、市が洞小校区は184位である。

木村  
さゆり  
議員



**Q** 防災アプリについて  
の考えはどのようか

**A** 先進事例を研究し  
ていく

**Q** 日本気象協会が防災啓発アプリを今年6月に開始した。このアプリは、災害情報の伝達、自宅の立地などに関する項目を入力すると、最寄りの避難所までの避難経路が作成でき、家族分の必要な備蓄品やその数が一目で分かるようになっている。また、市外に出かけた際に災害に遭遇しても、近くの避難所が分かるようになっている。自治体の負担もなく、防災活動を通じて得する防災ポイントを貯めることもできる。周知に努めてはどうか。

**A** 暮らし文化部長 先進事例の情報を収集し、研究していく。

**Q** ラジオ体操の普及・  
啓発をしないか

**A** 検討していく

**Q** ラジオ体操の普及・啓発をどのようにしていくのか。

**A** 福祉部次長 市民が主体的に取り組んでももらいたいと考えているので、ラジオ体操を地域活動の一環として実施している自治体を参考にしながら検討していく。

**Q** ラジオ体操は、速い動きやストレッチを組み合わせ約400種類ある全身の筋肉を活性化させ、習慣にすることで筋力がついたり、血流が良くなったり、代謝が上がったりする効果が期待されている。ただし、自己流であると効果が半減してしまうともいわれている。ラジオ体操のサポーターの養成を考えたか。

**A** ボランティア団体「ながくてすこやかメイト」など協力していただいている団体の役割について整理し、市民全体で取り組んでいただけるように、サポーターの養成も含め検討していく。



日本気象協会の防災公式アプリ

# 一 般 質 問

山田 けんたろう 議員



**Q** 市内の65歳以上の運転免許証保有者の数は

**A** 平成27年12月28日現在で5,573人

**Q** 通学路の安全対策や見直しは行っているか。

**A** 暮らし文化部長 小学校やPTA、地域の方と行政で点検し、対策を取っている。

**Q** 運転免許証自主返納の状況は。

**A** 愛知県では平成27年度中に13,836人が自主返納した。市内の数は把握できない。

**Q** 自主返納の特典及び車に代わる移動手段は。

**A** 高齢者外出促進事業として自主返納時に1回に限り5,000円分のマナカチャージ券を交付している。移動手段はNバス、名鉄バス、リコモ、タクシーとなる。

**Q** 福祉有償運送事業の拡大やタクシー事業者と連携して移動手段としないか。



自主返納後は車に代わる移動手段の整備が求められる(写真は市内の福祉有償運送事業者の車両)

**A** 福祉有償事業は事業者の拡大やドライバーの養成を行う。タクシー事業者との連携は財政支援上難しく、地域の住民同士が支え合う移動手段を検討していく。

**Q** 運転経歴証明書の特典を拡大しないか。

**A** 市内では2つの温浴施設で割引のサービスを行っている。今後利用の範囲を拡大していけるよう警察と協議していく。

**Q** 男性専用の相談窓口の開設を

**A** 男性女性問わず相談を受けている。男性専用については今後の課題としたい

**Q** 平成27年の全国における自殺者の数は2万4,025人、男性の数は1万6,681人で全体の約7割にのぼる。本市の男性からの相談状況と対応はどのようなか。

**A** 総務部長 相談内容は金銭、健康、契約、相続、離婚、仕事と多岐にわたる。対応は市の様々な部署で対応している。

山田 かずひこ 議員



**Q** 公共施設等総合管理計画策定の進捗状況はどのようなか

**A** 今年度末までに策定予定

**Q** 平成28年11月27日に市役所等公共施設整備基本計画の説明会が行われたが、参加者は何人か。

**A** 総務部長 30歳代から70歳代の方21人が参加した。

**Q** 市役所庁舎建て替えの構想は周知されていないと思うが、市民へのアンケートが必要ではないか。

**A** 市長 多くの市民の意見を聞くことが必要であると考えます。

**Q** 本市の指定管理者は、近隣市町と比較すると公益的な組織が運営しているものが多い。民間事業者を選定しないのか。

**A** 指定管理に限らず、様々な手法を検討し、優れた手法を導入したい。

**Q** 中央図書館に「ICタグシステム」と「指定管理者制度」を導入しないか。

**A** コンピューター管理システムの更新に合わせて検討していく。

**Q** リコモテラス公益施設を複合施設にしないか。

**A** 参考にする。

**Q** 本市の県道・市道にアンダーパスの道路や地下道は何カ所あるか

**A** 14カ所ある

**Q** 管理、安全対策はどのようなか。

**A** 建設部長 日常の道路パトロールで、不法投棄物の撤去、排水施設の清掃を行っている。

**Q** 大雨警報が発令された場合、誰が現地確認をするのか。

**A** 非常配備の班員及び土木課職員がパトロールを実施している。

**Q** 喜婦嶽地区と東狭間地区を結ぶ地下道に警報ベルはついていますが、警察署、消防署、警備会社へ連絡できるように通報装置をつけないか。

**A** 方法、方式等、他市町の事例も含め、通報装置について研究していく。



通報装置の取り付けが急がれる地下道

上田  
大議員



**Q** 「マイホーム借上げ制度」の活用をホームページ等で広報しないか

**A** 現在のところ考えてない

**Q** 年齢や家族構成などにより、過ごしやすい住まいも変化する。現在の持ち家が広すぎて、ライフスタイルに合った住居への住みかえを考えているシニア世帯がある一方で、ゆとりある住居を求めている子育て世帯もある。「マイホーム借上げ制度」とは、この双方を組み合わせることを主旨とする制度である。貸す側は、持ち家を売却するこ

となく資産を有効活用できる上に、入居者が見つからない場合でも、一般社団法人移住・住みかえ支援機構から終身にわたり規定の家賃保証を得られる。一方、借りる側は、リーズナブルな料金で安全・良質な住宅を借りることが可能で、双方にとっての有益性を確保できる。資産の活用にとどまらず、空き家対策にもつながる有効な制度であると考えが、市の窓口やホームページで広報しないか。

**A** 福祉部長 貸主となるシニア世代から目立った問い合わせはないので、現在のところ窓口設置やホームページでの広報は考えていない。

**Q** 潜在的な需要はあると考える。市内の独居高齢者世帯と後期高齢者世帯はどのくらいか。

**A** 福祉部次長 平成28年7月現在で、独居高齢者世帯が1,744世帯、後期高齢者世帯が524世帯。

**Q** 過去数年の推移はどのようなか。

**A** 独居高齢者世帯、後期高齢者世帯ともに年々増加している。

**Q** マイホーム借上げ制度の活用によって需要の喚起が考えられる「サービス付き高齢者向け住宅」を充実させないか。

**A** 福祉部長 既存の居住系サービスに空室がみられる上に、在宅生活を希望する高齢者が多いことから、整備の必要はない。



「マイホーム借上げ制度」を活用してはいかがでしょうか

# 一 般 質 問

大島 令子  
議員



**Q** 公共工事で市内建設業者を優先活用しているのか

**A** 一般競争入札では公告文に「下請負は市内業者を優先」と明記して受注機会拡大を図っている

**Q** 平成28年度上半期では、1件5,000万円以上の建設工事の下請数は87者あるが、市内業者はゼロである。公告文が努力義務なので効力がないのではないのか。

**A** 総務部長 市内業者は地域に精通し災害対応も期待できる。ホームページに事業者一覧を掲載するなど、できることはやる。



平成23年に定員4名で実施、翌年定員10人の専用センターとして開設した「日進市病児・病後児センター」

**Q** 土木工事のみが市内業者で指名競争入札ができる。建築、造園、水道工事等も基準を見直して市内業者のみで実施すべきではないか。

**A** 時をみて適時見直していく。

**Q** 病児・病後児保育をなぜ市内で実施できないのか

**A** 市内医療機関に打診したがなかったのが名東区で実施している

**Q** 市外での実施後、何回、医師会に打診したのか。

**A** 福祉部長 打診はしていない。

**Q** 早期実施のため医療機関への初期投資助成金などはあるのか。

**A** 限度額400万円を設けている。

**Q** 利用料1日4,000円は隣接市の約2倍である。軽減できないか。

**A** 名古屋市も委託している医療機関なので同一料金で設定せざるをえない。

**Q** 小児科医の新規開設が必要条件ならば、絶えまない医師会への発信が大切ではないか。

**A** 大変重要な事業と理解しているので初期投資の話も含めて引き続き医師会へお願いしていく。

林 みすず  
議員



**Q** 義務教育の保護者負担金を見直し軽減を

**A** ひと月に偏らないよう配慮している

**Q** 中学生の野外活動でペットボトル飲料が1本154円など飲食費に一人4,000円以上、修学旅行には5万円以上の参加費と小遣いなど重い負担となる。家庭によっては払えずに参加を諦める場合も出てくる。公費負担を増やし軽減しないか。

**A** 教育部長 所得が低く払えない人には、就学援助金制度があるので申し出てほしい。

**Q** 教材テストは1教科290円だが、教師が多忙だから購入しているのか。

**A** 教育長 忙しく、なかなか手作りできない。

**Q** 教員の負担軽減であれば人件費に該当するため公費とすべきであり、保護者負担にして良いのか。

**A** 教育部長 ほとんどの自治体でやっているのが妥当である。

**Q** 嘱託保育士の給与額はどうか

**A** 年収は控除後で200万円を下回る

**Q** 正規職員との賃金差が大きいですが、通年勤務なのでボーナスを支給すべきではないか。

**A** 市長公室長 職員の位置づけからボーナス支給については規定していない。

**Q** 有給休暇取得は前期5日・後期5日と規定している。前期に5日取得後やむを得ず休暇を取得する場合、後期分が残っていても賃金カットとなる。残があれば正規職員と同様に充当すべきではないか。

**A** 福祉部長 対応できるか担当と確認する。

**Q** 予約満員で集団がん検診を受診できない場合、差額負担金の助成をできないか

**A** 助成しない

**Q** 受診枠の拡大や休日の受付はできないか。

**A** 福祉部次長 検討する。

佐野 尚人 議員



**Q** SSW(スクールソーシャルワーカー)を配置しないか

**A** 推進していく

**Q** 平成26年にSSWの配置と人材育成を要望した。今年度県の補助金が新設されたにもかかわらず申請していない。どのようにしていくのか。

**A** 教育長 県立大学の研修受講をすすめてきた。今後は補助金を活用できるよう配置を検討する。

**Q** 学校にミスト設置を

**A** 研究していく

**Q** 夏期の対策として学校に空調設備の整備が求められているが、コストや環境面で課題があるとの返答であった。安価で環境にやさしいミストの設置を検討しないか。同時にグラウンドに散水設備も整備すれば、打ち水効果とともにグラウンドの砂の飛散も抑制できるのではないか。

**A** 教育部長 導入している自治体もあり、効果について研究する。

**Q** 地域にエコハウス機能を

**A** 前向きに検討する

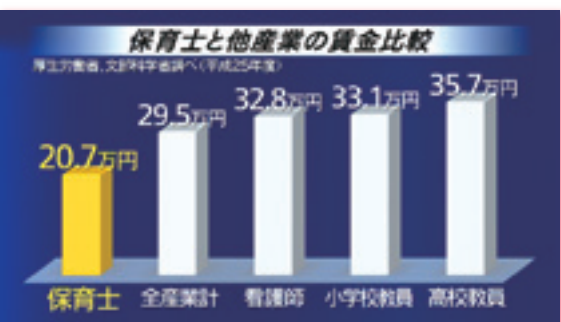
**Q** 休日に資源ごみを持ち込む方が増えているなかでイオンが開業し、渋滞でエコハウスが利用しにくくなる。共生ステーションで資源ごみの回収をしてほしい。また、リユースを地域の方に行ってもらい、共生ステーションでリサイクルマーケットを行うなどしていかないか。

**A** 副市長 共生ステーションでの地域の参加の仕方を模索している。エコハウスの拡充など地域主導で取り組んでいけるようにしていきたい。

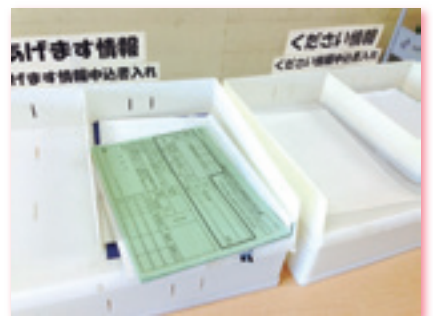
児童福祉法の改正について

**Q** 改正により、市の責務が明確になった。児童相談所から事案が送致されてくるが、市の体制は大丈夫か。

**A** 福祉部長 人員は整っている。



保育士の賃金はかなり低い



地域でリユースを推進しないか

さとう ゆみ 議員



**Q** 相次ぐ市役所のミスの再発防止策はどのようなか

**A** 確認を徹底する

**Q** 予算書のゼロ桁間違い、行政評価(内部評価)の49枚もの差替え、退任した代表監査委員名を記載、公用車の管理不徹底など、ミスが相次いでいるがどのように考えているか。

**A** 総務部長 個々の要因を検証し、必要なチェック機能が果たせるよう再発防止に努める。

**支援が必要な子どものスムーズな就学に向け福祉と教育の連携を**

**Q** 「5才児すこやか発達相談」の保護者によるアンケートの回答で232人が一定の点数を超えていたが、市は「相談したい」と回答した18人にしか連絡していないのは不十分ではないか。

**A** 福祉部長 何らかの方法で63人とは連絡を取った。今後、より良い方法を検討したい。



カラスによるゴミの散乱が市内全域で問題となっている

**Q** 臨床心理士と保健師が園訪問を始めたが、年中児のみの巡回である。スムーズな就学には年長児の巡回もすべきではないか。

**A** 園との連携が図れるようになってきたので一步前進と考えている。その他関係機関との連携の仕組みづくりを検討していく。

**カラスによるごみ散乱の対策を**

**Q** 学生や単身者にゴミ出しルールについての啓発を強化できないか。

**A** 暮らし文化部長 散乱があった場合は、その都度マンション等の管理会社へ連絡している。また、学生や単身者の目に留まる啓発チラシの作成を検討している。

**Q** 黄色の特殊塗料のごみ袋は、カラスから中身が見えにくいとされる。実証実験を行ってはどうか。

**A** 各自治体で実証実験が行われているが、はっきりとした効果が得られていないのが現状である。効果的な先進地の取り組みを調査研究する。

加藤 和男 議員



**Q** 有害鳥獣被害状況は

**A** イノシシによる被害が増加している

**Q** 農作物等の被害状況はどのようなか。

**A** 建設部長 上郷地区、岩作地区で、サツマイモ、米、スイカなど約2.4ヘクタールの農作物被害が報告されている。

**Q** 被害対策はどのようにしているか。

**A** 状況に応じ、猟友会の協力を得て箱ワナ等を畑に置き、有害鳥獣の捕獲に努めている。



畑に仕掛けられたイノシシ用箱ワナ



**Q** 市民から提出された有害鳥獣被害対策の要望書に、市はどう対応するのか。

**A** 岩作、大草、前熊、北熊区長の連盟で要望書が出されている。市としては、捕獲用ワナの整備、防護策購入費用の支援制度などを検討していきたい。

## Q 消防団員の充足率はどのようか

**A** 66.3パーセントである

**Q** 消防団員数の現状はどのようか。

**A** 消防長 今年11月末日現在129人で、条例定数193人を大きく下回っている。

**Q** 消防団員の増員対策をしているか。

**A** 昨年度は、広報誌で消防団の紹介や各種イベントで啓発を行った。その結果、年度途中に12人が入団し、一定の成果が得られた。今年度は、オリジナルポスターや横断幕を作成し、市内の飲食店、スーパー、コンビニ、大学に掲示し、横断幕は市役所に掲出している。また、リニモ駅や地下鉄藤が丘駅でチラシを配布するなど、特に学生などの若者世代を対象に、入団促進に取り組んできた。今後も、新たな取り組みを検討し、消防団員を増員するために努力したい。

なかじま 和代 議員



## Q 病児保育を市内で行えないか

**A** 実施を目指し、医師会へ働きかける

**Q** 数日間利用する場合や、兄弟が同時に利用する場合は、1日一人4,000円の保護者負担は高額になる。生活保護受給世帯など所得区分に応じて利用料を見直さないか。

**A** 福祉部次長 研究する。

**Q** 市内に公立幼稚園がない。3歳児以上の障がいがある幼児は、親の就労の有無にかかわらず保育園へ入園できるようにしないか。

**A** 福祉部長 現在のところ、直ちに保育所の入所要件を変えることは難しい。他の方法で個別に対応して支援を充実していきたい。

## Q 乳腺検診を30歳から行わないか

**A** 国の動向を注視する

**Q** マンモグラフィ(X線)検査のみでは妊娠、授乳中など検査ができない。超音波検査を導入しないか。

**A** 福祉部長 考えていない。

**Q** がん検診の要精密検査の案内に、検査できる医療機関、女性医師かなどの情報を同封できないか。市のホームページで病院検索をできるようにしないか。

**A** 検討する。

## コミュニケーション支援について

**Q** コミュニケーション支援ボード、筆談ボードを防災用備品として備えないか。

**A** 暮らし文化部長 筆談ボードは設置を検討する。コミュニケーション支援ボードは研究する。

## 中央図書館について

**Q** 開館時間を延長しないか。

**A** 教育部長 図書館運営協議会へ諮り協議する。

## 学校開放について

**Q** 身近にある施設を有効活用でき、市民にとってメリットが大きいと考える。利用日時を拡大しないか。

**A** 暮らし文化部長 研究する。

居住地区	保育料階級区分	利用10時間まで
名古屋市在住 (生後6ヶ月～ 小学6年生まで)	A階級(生活保護世帯)	0円
	B階級(市民税非課税世帯)	
	C1-3階級 (所得税非課税世帯)	2,000円
	C4-16階級 (所得税課税世帯)	4,000円
長久平市在住 (生後6ヶ月～ 小学3年生まで)	所得区分はありません	4,000円

病児保育室の利用料金

川合 保生 議員



## Q 空き地、空き家の現状は

**A** 空き地は把握していないが、空き家は今年度中に全域調査が終わる予定

**Q** 草木の管理がされず近所に迷惑をかけている空き家はどう対応しているか。

**A** 建設部長 その都度担当課が個別に対応している。

**Q** 通知をしても対応しない場合は行政代執行ができないのか。

**A** 暮らし文化部長 空き家対策特別措置法はあるが、私有財産に対しては慎重に対処しなければならないので難しいと考えている。



どうなる下山児童館

## Q 指定避難所における障がい者用トイレに対する考えは

**A** 仮設トイレを検討する必要がある

**Q** 仮設トイレでは季節、天候によっては使用しづらいと思うがどう考えているか。

**A** 暮らし文化部長 学校の体育館は北中に多目的トイレがあるがその他には無い。市内の公共施設には18基ある。「災害用資機材の要請に関する協定」を締結している事業者で仮設トイレを確保することを検討したい。

## Q 下山児童館は今後どうするか

**A** 移転後の活用方法は地域の方々とともに考える

**Q** どこに移転するのか。

**A** 福祉部長 長湫北保育園跡地に下山児童館の機能を(仮称)北児童館として移転する。

**Q** 下山児童館を利用している子どもたちには利用しづらくなると思うが、現在の利用者は何人か。

**A** 福祉部長 年間約14,500人である。

**Q** 平成31年に場所が変わることで児童の安全確保についてはどう思うか。

**A** 教育部長 自宅に安心安全に帰宅することを考えなければならない。

## 議員全員参加の研修を実施

市議会では、平成28年10月11日に地方議会総合研究所所長の廣瀬和彦氏を講師に招き、「委員会制度・運営の理論と実務」を学びました。研修会を実施し、全議員が参加することで議会力を高められるよう努めています。

今回の研修会では、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会がどのような形で設置されていると効果的であるか、また各委員会が果たすべき役割について、本市議会の課題を共有しました。講師から「予算・決算特別委員会と議会だより編集特別委員会は常任委員会化が適当」「閉会中の継続調査申出事件は特定かつ具体的な内容を記載すべき」などの指摘を受けました。議員が課題と認識した点、講師から指摘を受けた事項については、議会運営委員会で議論を進めており、改善に取り組んでいます。



## 第6回 議会報告会を開催しました

議会報告会を11月5日に開催しました。12人の市民の皆さまにご来場いただき、一部は総務・教育福祉・くらし建設委員会の各委員長による委員会報告、二部は各委員会に分かれ、テーマ別の意見交換会を行いました。今回の報告会でいただいたご意見などの総数は34件でした。議会に関すること以外のご意見などは、執行機関に意見・要望として報告させていただきました。貴重な声をいただきありがとうございました。なお、詳細は市ホームページをご覧ください。



### 平成28年 第4回定例会 議案等審議状況

※議長 伊藤祐司は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対

提案者	議案名	審議結果	上田	林	なか	山田	大島	さ	木村	山田	青	佐	田	吉	さ	じ	岡	加	川	
			大	み	し	けん	島	さ	村	田	山	野	崎	田	と	の	崎	藤	合	
市長	平成28年度一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員定数条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福祉の家条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度1号調整池整備工事請負契約の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	相互救済事業の委託	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願者	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	安全保障関連法の廃止を求める意見書を国に提出することを求める請願	不採択	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×
	「川内原発をはじめとする原発再稼働に反対し廃炉とし、原発ゼロ政策への転換に向けた意見書の提出」に関する請願	不採択	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×
議員	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 議 会 傍 聴 記

M.K

議会も改選後若い議員が増え、活性化しているように感じる。それぞれの立場から課題を感じ市長へ問題提起している。だが、突っ込み足りない部分もあり、歯がゆく感じるところも多い。また市の現状や市民感情からずれているのではと感じる部分もあり、議員諸氏には市民の感覚を持ってさらなる研さんを望む。イオンがオープンし、市内の道路がまひしている状況で市民の生活がきちんと確保されるのかと心配される。全国ランキング2位の住みよさを実感できる街になるよう今後とも議会の活動に期待したい。

藤田 恵美

12月21日の本会議を傍聴した。私は請願者として12月12日の総務委員会で主旨説明をしたが、委員長報告ではその内容について触れられておらず、審議内容が伝わってこなかった。総務委員会で陳述の機会が与えられたものの、質問もなく、いきなり反対討論をされたが、一般市民がどのような思いで請願を出したか、議会は市民の声に誠実に向き合っていたいただきたい。総務委員会の委員でもなく傍聴もされていない議員の方々が主旨説明を聞かずして採決に臨まれたのがとても残念である。

## 3月定例会開催予定

(平成29年 2月21日～3月23日 31日間)

月日	曜日	開催時間	摘 要
2月21日	火	午前10時	本会議 議案(上程、説明)
2月22日	水	午前10時	本会議 議案(質疑、委員会付託)
2月24日	金	午前9時30分	本会議 一般質問
2月27日	月	午前9時30分	本会議 一般質問
2月28日	火	午前9時30分	本会議 一般質問
3月2日	木	午前10時	予算特別委員会
3月6日	月	午前10時	予算特別委員会
3月9日	木	午前10時	常任委員会
3月10日	金	午前10時	常任委員会
3月13日	月	午前10時	常任委員会
3月21日	火	午前10時	議会運営委員会
3月23日	木	午前10時	本会議 議案(委員長報告、討論採決)

3月議会への請願陳情の提出締切日は2月14日(火)正午です。

## 編 集 後 記

新年を迎えました。皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

もうすぐ「節分」「立春」を迎えます。立春、立夏、立秋、立冬の前日を「節分」と言い「節を分ける」として季節の変わり目を指しています。「立春」は厳しく寒い冬も明け暖かく朗らかな春の始まりを表します。と言いましても一年の中で最も寒い時期ではないかと思えます。そんな中、寒さ暖かさを繰り返しながら春になっていきます。

今年も議会だより編集特別委員会は議会での厳しい寒さや朗らかな暖かさのある記事を取り上げ、「市民の皆さまの目線」を心掛け、委員会一同で丹精を込めた編集に努めてまいります。

(山田けんたろう)

### 編集特別委員会

委員長 副委員長  
さとうゆみ 上田大 ささせ 順子  
林みすず 山田かずひこ 山田けんたろう